

令和8年度第1回三重県議会「議員勉強会」開催要領

■ 目 的

昨今、気候変動の影響による平均気温の上昇や豪雨の頻発化、さらには国際情勢の不安定化等に伴い、輸入農産物・農業資材の価格高騰及び入手困難な状況が発生するなど、食料安全保障上の懸念は高まっています。

このような状況の中、安全・安心な農産物の安定的な供給等のため、農業及び農村の果たすべき役割はより重要なものとなってきています。

そこで、食や農業の現状、食料安全保障等について有識者から学び、今後の県議会における議論の参考とします。

■ 日時・場所

令和8年10月1日（木）13時30分～15時00分

三重県議会議事堂3階 全員協議会室

■ 講 師

鈴木 宣弘 氏

東京大学大学院農学生命科学研究科 特任教授・名誉教授

一般財団法人食料安全保障推進財団 理事長

日本の食料安全保障問題の第一人者として、食料危機から国民を守るため、安全な食を支える農林水産業の振興等に尽力している。

著書は、「世界一わかりやすい 日本の農業の教科書」「コメ・ショック」「もうコメは食えなくなるのか」「令和の米騒動」など多数。

■ 演 題

「食料安全保障と食料自給率～食と農の現状と未来を考える～」



食料安全保障と食料自給率 ～食と農の現状と未来を考える～

昨今、気候変動の影響による平均気温の上昇や豪雨の頻発化、さらには国際情勢の不安定化等に伴い、輸入農産物・農業資材の価格高騰及び入手困難な状況が発生するなど、食料安全保障上の懸念は高まっています。

このような状況の中、安全・安心な農産物の安定的な供給等のため、農業及び農村の果たすべき役割はより重要なものとなってきています。

今回の勉強会では、県議会における議論をさらに深めるために必要な視点等についてお話を伺います。

講師 すずき のぶひろ
鈴木 宣弘 氏



東京大学大学院 特任教授・名誉教授
一般財団法人食料安全保障推進財団 理事長

1982年 東京大学農学部農業経済学科卒業
1982年 農林水産省入省
2006年 東京大学大学院農学生命科学研究科 教授
2022年 一般財団法人食料安全保障推進財団 理事長
2024年 東京大学大学院農学生命科学研究科 特任教授
(現在に至る)

1958年三重県に生まれる。日本の食料安全保障問題の第一人者として、食料危機から国民を守るため、安全な食を支える農林水産業の振興等に尽力している。

著書に、「世界一わかりやすい日本の農業の教科書」「コメ・ショック」「もうコメは食えなくなるのか」「令和の米騒動」など。

2026/10/1 (木) 13:30～15:00

場所：三重県議会議事堂3階 全員協議会室

問合せ先：三重県議会事務局企画法務課 伊東

TEL 059-224-2879 FAX 059-229-1931 mail : gikaik@pref.mie.lg.jp